

2021（令和3）年4月22日
中野区介護サービス事業所連絡会

2021（令和3）年度
中野区介護サービス事業所連絡会総会・講演会及び交流会：次第

1. 開 会

会長挨拶

来賓挨拶

中野区長 酒井 直人 氏

中野区地域包括ケア推進担当部長 藤井 多希子 氏

中野区介護・高齢者支援課長 葉山 義彦 氏

2. 第1部 総会 開会（午後6時50分から）

(1) 議長選出

(2) 議案の提出

(3) 審議

①第1号議案

2020（令和2）年度事業報告・決算（案）について

②第2号議案

2021（令和3）年度事業計画・予算（案）について

③第3号議案

運営委員の選出（案）について

(4) 正副会長の選出

3. 閉 会 （午後7時45分終了予定）

2020(令和2)年度事業報告(案)

I. 2020(令和2)年度 事業報告総括

令和2年度は、年度を通して新型コロナウイルスによる活動制限を大きく受けた1年となりました。事業計画においては、長年の真摯な取組により増大してきた当会と会員事業所への期待と信頼に応えるべく、『中野スタイルを創造する～地域とともに～』のスローガンの下、

1. 区民、地域、異業種地元企業との関係強化
2. 公的な場への参加と発言力強化
3. 介護事業所従事者の確保及び地位向上

の重点活動目標を掲げました。

しかしながら、未曾有の感染症の拡大の勢いは、介護利用者をお支えする立場の我々事業所の体力と神経を大きく消耗させることとなりました。

かかる状況にもかかわらず、感染対策を踏まえて取り組めるいくつかの活動目標細目を達成するに至りました。更には、目標になかった新型コロナウイルスによる運営への影響に関する実態調査アンケートや、区と連携して感染の影響を受けた在宅要介護者受入体制整備の構築

など、当会、委員会一致団結した活動も行いました。

以下に主な活動実績を報告します。

- ① 新型コロナウイルス感染症による対応実態調査アンケートとマニュアルづくり
- ② 中野区との在宅要介護者受入体制整備事業の草案構築
- ③ 感染対策を取り、パネル展示を中心として介護の日イベントの実施継続
- ④ 中野区議会全会派との、新型コロナウイルス対策を含めた政策協議
- ⑤ オンラインでの会議と研修を実現し、更に定着するレベルまでに到達
- ⑥ 第8期介護保険事業計画意見交換会では、会場と会員リモート参加により協議
- ⑦ 初のオンライン全体研修にて、異業種・著名人からの応援講演を実施
- ⑧ 介護の魅力発信事業で、活躍する従事者を紹介した動画制作
- ⑨ 中野区社会福祉協議会、ハローワークと連携し、感染対策の下、福祉の仕事相談面接会を実施

以上のように、新型コロナウイルスの甚大な経営への影響は、新しい発想や取組を生み出すことにも活かすことができました。これを受けて、令和3年度は、長年の取組を継続するもの、そして新たな視点で取組むものなど、経験を糧に、未来を創る視点で、当会運営委員を中心に、各部会、会員事業所と一致団結して活動します。

また、下表の会議に本会会員を推薦・派遣し、関係各所との連携を図りました。

中野区健康福祉審議会委員
中野区基本構想審議会委員
中野区地域包括支援センター運営協議会委員
中野区高齢者・障害者虐待対応連絡会委員
中野区成年後見支援事業運営委員
中野区民の健康づくりを推進する会
中野区社会福祉協議会評議員
いきいきプラン推進委員会委員
しらさぎ24介護・医療連携推進会議委員
中野区在宅医療介護連携推進協議会
中野区在宅医療介護連携推進協議会認知症部会
中野区在宅医療介護連携推進協議会摂食・嚥下部会
中野区在宅医療介護連携推進協議会在宅療養部会
中部すこやか福祉センター地域ケア会議
南部すこやか福祉センター地域ケア会議
北部すこやか福祉センター地域ケア会議
鷲宮すこやか福祉センター地域ケア会議
中野区地域ケア会議
中野区社会福祉協議会ほほえみサービス事業運営委員

II. 基調講演、全体研修、区との共催研修・事業等の実施状況

1. 当会主催の講演会及び全体研修

事業名	開催日	テーマ・講師	参加者
総会	4月24日(金)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面評決を実施(正会員173事業所に書面での評決を依頼する)	107事業所より書面評決
全体研修	3月4日(木)	講演会「変化の時代をどう乗り切るか!」 ～新型コロナウイルス禍で奮闘の介護事業所職員さん応援講演～ 講師：牛久保 洋次氏	オンライン開催 67名参加

2. 中野区と当会の共催研修(8回)

事業名	開催日	研修テーマ	参加者
第1回 介護支援専門員研修	8月27日	ファシリテーターに求められるコミュニケーションの基礎と接遇	128名 (76事業所)
サービス提供責任者研修	8月14日	肩の力を抜いて考えよう「ターミナルケア」 ～自然に寿命を全うするために～	26名 (25事業所)
第2回 介護支援専門員(共催)研修	10月9日	情報を整理しながら聞いて明快に話すための「論理的思考力研修」	107名 (68事業所)
介護サービス事業所共催研修	10月7日	認知症ケア 「水分」「食事」「便通」「運動」に対する評価とアプローチ	29名 (23事業所)

介護サービス事業所 共催研修	10月18日	「介護技術」 正しい介護技術を学んで腰痛予防！ ボディメカニクスから環境設定	42名 (27事業所)
介護支援専門員・サ ービス提供責任者共 催研修	1月15日	「医学知識」利用者の減薬について	98名 (60事業所)
介護サービス事業所 共催研修	3月9日	「メンタルヘルス・ストレスマネジメント研修」 ～今日からできるセルフケア～ ※新型コロナ ウイルスの影響で在宅研修に変更	46名 (35事業所)
地域ケアマネ支援研 修	2月28日	「ケアマネジメントの質の向上研修」～アセス メントを的確に行うための「質問力」とは～ ※新型コロナウイルスの影響で在宅研修に変更	126名 (72事業所)

Ⅲ. 各部会活動

1. 介護支援専門員部会

(令和2年度役員体制)

役 職	氏 名	事業所
会長・運営委員	宮原 和道	NPOピクニックケア
副会長	高橋 昌代	中野北地域包括支援センター
副会長 (CMAT 担当)	高山 修	みずたま介護ST 中野ケアプランセンター
会 計 (中部担当)	星野 智光	こ・こけあ中野
主任連絡会	富澤 博幸	スマイルプラン
主任連絡会	梅原 悦子	中野地域包括支援センター
主任連絡会(鷺宮担当)	長 久子	みずたま介護鷺ノ宮
広 報	三枝 麻美	あいわ介護中野
広 報 (運営委員)	大場 秀子	慈生会中野ケアプランセンター
研修交流会	渥美 頼子	川島診療所
研修交流会(北部担当)	中條 知子	江古田ケアマネジメントセンター
研修交流会	平野 夕子	しらさぎ介護
会 場	田邊 智子	大起エンゼルヘルプ中野
会 場 (南部担当)	廣末 美千代	弥生居宅介護支援事業所
会 場	皆川 明美	あおば
防災 (北部)	磯貝 栄司	SOMPOケア新井
防災 (南部)	廣末 美千代	弥生居宅介護支援事業所

(令和2年度活動報告)

日 程	活動内容	備 考
4月	定例役員会 4/16 書面会議	
5月	定例役員会	主任連絡会中止 (新型コロナウイルスのため)
6月	定例役員会	

	6/18 書面確認	
7月	定例役員会 7/16 オンライン併用にて会議	主任連絡会中止 (新型コロナウイルスのため)
8月	定例役員会 8/20 オンライン会議	
9月	定例役員会 9/10 オンライン会議	主任連絡会中止 (新型コロナウイルスのため)
10月	定例役員会 10/15 メール会議	
11月	定例役員会 11/19 メール会議	主任連絡会中止 (新型コロナウイルスのため)
12月	定例役員会 12/17 オンライン会議	
1月	定例役員会 1/21 オンライン会議	主任連絡会中止 (新型コロナウイルスのため)
2月	定例役員会 2/18 オンライン会議予定	
3月	定例役員会 3/18 オンライン会議予定	

※介護支援専門員部会主催、共催、後援の活動のみ記載。

○会計報告

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
年会費	50,000		
ケアマネ部会リーフレット		4,921	
合 計	50,000	4,921	45,079

○ 介護支援専門員部会活動総括

令和2年度は他部会との交流促進、介護の日等の行政との連携、研究の継続・進化などを目標としたが新型コロナウイルス感染拡大を受けて目標を大きく変更せざる得ない状況となった。

主任連絡会は年初頭の新型コロナウイルス感染拡大を受けて2021年1月3月に区内2ブロックに分割の上、研修を計画したが中止せざる得ない状況となった。

2. 訪問介護部会

(令和2年度役員体制)

役 職	氏 名	事業所
会 長(交流会)	畑野 由樹	ケアリッツ中野
副会長(認知症)	濱崎 健二	ダスキングライフケア 東中野ステーション
副会長(認知症)	戸澤 由希子	ケアセンター希
副会長(研修)	野口 和之	ヘルパーステーション中野
副会長&書記(研修)	大江 亮平	たんぽぽ介護
副会長(イベント)	江田 舞	介護ステーションぽけっと

会 計(交流会)	白須 明香	介護ステーションぽけっと
(イベント)	渡辺 文恵	ヘルパーステーション中野の郷
(イベント)	田山 美紀	みずたま介護ステーション鷺ノ宮
(研修)	吉田 裕子	みずたま介護ステーション鷺ノ宮
(研修)	宇川 佳子	みつ葉訪問介護事業所
(イベント)	井上 真弓	らいふ・ふれあい介護サービス野方
(イベント)	瀬島 真子	スギコーケアセンター野方
(イベント)	古澤 圭佑	あけぼの介護センター
	奥田 由美子	介護ステーションぽけっと

(令和2年度活動報告)

日程	活動内容	備考
4月	感染症による影響について 実態調査アンケートの実施	
5月	定例役員会中止	
6月	定例役員会 全体研修「新型コロナウイルス対応でのアンガ ーマネージメント研修」※	※資料配布
7月	定例役員会	
8月	定例役員会	
9月	定例役員会	
10月	定例役員会	
11月	定例役員会 介護の日PRイベント	
12月	定例役員会	※オンライン使用
1月	定例役員会	※オンライン使用
2月	定例役員会	※オンライン使用
3月	定例役員会	※オンライン使用

※開催場所は、スマイルなかの3階会議室 18:30~20:30 で実施

○会計報告

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	50,000		
研修費		15000	
研修費振込手数料		220	
介護の日パネル 作成日		5900	
合 計		21120	28880

○ 訪問介護部会総括

コロナ禍の中、前年度行っていた活動のほとんどを中止、縮小して行っています。定例の役員会ですが、規模を縮小しながら活動していましたが、12月よりオンライン会議の導入し、より状況確認、意見交換を行えるようになりました。全体研修は6月に資料配布のみ行っています。

介護の日 PR イベントでは、例年行っている疑似体験を中止して、パネルの展示のみ行いました。

3. 通所介護部会

(令和2年度役員体制)

	氏名	事業所
会長	高橋 亮子	デイサービスセンター中野の郷ぷりむら
副会長	富田 浩	ベタニア・デイホーム
副会長・運営委員	加藤 仙太郎	アサヒサンククリーン野方デイサービスセンター
運営委員	西川 陽平	デイサービス宙
広報・PR	遠藤 学	デイサービスやすらぎ邸 野方
広報・PR	福田 俊一	SOMPO ケア新中野デイサービス
広報・PR	高森 千春	デイサービス 第二中野陽だまり
会計	小森 千佳	デイサービスいずみスパ新中野
書記	高橋 芹香	デイサービス江古田の森
書記	唐沢 明美	松が丘高齢者在宅サービスセンター
書記	田中 恵	老人デイサービスセンターふじみ苑

(令和2年度活動報告)

日程	活動内容	備考
4月		
5月	通所部会から中野区・事業所連絡会への意見書提出	
6月18日	定例役員会 参加者 6名	(初オンライン導入会議)
7月16日	定例役員会 参加者 6名	オンライン会議
8月20日	定例役員会 参加者 10名	オンライン会議
9月17日	定例役員会 参加者 5名	オンライン会議
10月12日	臨時役員会 参加者 4名	オンライン会議
10月22日	定例役員会 参加者 4名	オンライン会議
11月19日	定例役員会 介護の日参加 参加者 7名	スマイルなかの&オンライン会議
12月17日	定例役員会 参加者 8名	スマイルなかの&オンライン会議
1月12日	臨時役員会 参加者 7名	オンライン会議
1月21日	定例役員会 参加者 9名	オンライン会議
2月18日	定例役員会 参加者 7名	オンライン会議
2月24日	臨時役員会 参加者 10名	オンライン会議
3月18日	定例役員会 参加者 6名	オンライン会議
3月25日	全体研修会「皆さん元気ですか？」 参加者 20名	オンライン研修会

○ 会計報告

(単位：円)

内容	収入	支出	残高
部会費	50,000		50,000
講師代		30,000	20,000
講師代振込手数料		440	19,560
部会議事録用USB		1,188	18,372
通所部会用のぼり		14,300	4,072

○ 通所介護部会活動総括

今年度は、コロナ禍の中、役員会も感染防止理由等で、なかなか集まる機会が難しい事業所もあり、全員が揃う機会は持てませんでした。

しかし、リモート導入で、役員で各事業所の悩み共有、感染防止対策についての意見交換は多くできました。

コロナ禍で、不安な中、特に情報共有が大切な時期に、全体で顔を見て各事業所の悩み共有、情報共有の機会が持てなかった事が大きな課題に残りました。

特に通所は、多種にわたる事業所があります。

運動特化型、入浴特化型、認知症対応型、通常型、それぞれの特化した事業所がこのコロナ禍で様々な想いを抱いて営業していたのだと感じます。

役員だけではなく、会員事業所が、困っているからこそ、お互いが支えあえる力強い通所部会にしていきます。

4. 福祉用具・住宅改修部会

(令和2年度役員体制)

役職	氏名	事業所
会長	柳沢 裕行	株式会社アースシステム
副会長	佐藤 英郎	在宅介護センター・アスモ
会計	佐藤 英郎	在宅介護センター・アスモ
広報	市川 裕介	株式会社 東基
書記	米倉 雄介	株式会社アースシステム
監査	佐藤 靖	ダスキンヘルスレント新宿ステーション

(令和2年度活動報告)

日程	活動内容	備考
4月	定例会 (コロナ禍のため延期)	
5月	定例会 (コロナ禍のため延期)	
6月	定例会 (コロナ禍のため延期)	
7月	定例会 (コロナ禍のため延期)	
8月	定例会 (コロナ禍のため延期)	
9月	定例会 (コロナ禍のため延期)	
10月	定例会 (介護の日等 打ち合わせ)	
11月	介護の日 (中野区役所 参加) 介護の日 (しらさぎ桜苑 オンライン参加)	
12月	定例会 (コロナ禍のため延期)	

1月	定例会（コロナ禍のため延期）	定例会後交流会中止
2月	定例会（コロナ禍のため延期）	
3月	定例会予定	

○会計報告

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	30,000		
イベント・研修謝礼		0	
駐車場代(用具搬入)		0	
合 計	30,000	0	30,000

備考：中野区介護技術研修、部会主催研修が実施されなかった為、その他福祉用具の展示がなかったため本来支出されるべき謝礼・広報等の費用が発生しませんでした。（部会費の受取をしておりません）

○ 福祉用具・住宅改修部会活動総括

令和2年度は、コロナ禍による緊急事態宣言等により感染予防の観点から部会での集まりを延期・中止いたしました。電話・メール等にて情報共有を行っていましたが、イベント等の活動は行えませんでした。

5. グループホーム部会

(令和2年度役員体制)

役 職	氏 名	事業所
会長・運営委員	福島 誠	はびね中野坂上
副会長・運営委員	河崎 剛	たのしい家 中野南台
会計	上記2名が兼任	

(令和2年度活動報告)

日 程	活動内容	備 考
4月	総会	
5月	定例会	
6月	定例会	
7月	定例会 オンライン会議開催	
8月	定例会 オンライン会議環境整備	
9月	定例会	
10月	定例会 介護の日ポスター制作	
11月	定例会 介護の日 ポスター展示	
12月		
1月	定例会	
2月	定例会 ガイドブック作成	
3月	定例会 ガイドブック配布	

○会計報告

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	50,000		
ガイドブック作成費		40,980	9,020
合 計	50,000	40,980	9,020

○ グループホーム部会総括

オンライン会議へ参加できるよう、マニュアルの作成と準備をおこないました。
介護の日ではグループホームとは何かをテーマにしポスター制作。

制作とオンライン会議を通して相互間のコミュニティーをより密にしていくことができました。今後も継続し、コミュニティー形成と、オンラインを使った交流会をおこなっていきたいと考えております。

6. 訪問看護部会

(令和2年度役員体制)

役 職	氏 名	事業所
会 長	会田 久子	ひよこ訪問看護ステーション
副会長	川崎 広志	なごみ訪問看護ステーション
副会長	関根 玲子	東電さわやかケア中野・訪問看護
書 記	本間 有紗	東京リハビリ訪問看護ステーション中野
書 記	前川 慶亮	ベストリハ訪問看護ステーション
会 計	大峰 眞由美	新渡戸記念訪問看護ステーション
会 計	山口 みどり	なごみ訪問看護ステーション
会計監査	内 孝子	上高田訪問看護ステーション
会計監査	藤野 豊子	中野北ベタニア訪問看護ステーション

(令和2年度活動報告)

日 程	活動内容	備 考
4月	オンライン幹事会	
5月	オンライン幹事会	
6月	オンライン幹事会	
7月		
8月		
9月		
10月		
11月		
12月	オンライン部会	
1月	オンライン部会	
2月		
3月	オンライン部会	

○会計報告

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	50,000		
合計	50,000		50,000

○ 訪問看護部会 総括

ヘルパーや訪問看護師向けの研修、地域イベントの参加を計画しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で全て中止となりました。部会もなかなか開催できない状況ではありましたが、12月からはZOOMを利用しオンラインでの部会を開催しています。オンライン部会ではそれぞれのステーションの感染対策の共有や、今後の部会や研修の方法について検討を行いました。

感染症による影響は今後も続くことが予測されるため、オンラインを上手く活用しながら今後も活動を継続していきます。

7. 介護老人福祉施設部会

(令和2年度役員体制)

役職	氏名	事業所
部会長	田村 晃司	中野友愛ホーム
副会長	戸田 慎一	江古田の森
会計	白井 豊	浄風園

(令和2年度活動報告)

日程	活動内容	備考
4月		
5月		
6月	定例会 (中止)	
7月		
8月	定例会 (中止)	
9月		
10月	定例会	
11月	研修会 (認知症ケア)、	
12月	研修会 (コミュニケーション)、城西ブロック	
1月	研修会 (事故防止)、定例会	
2月	研修会 (感染症) 定例会	
3月	研修会 (制度改正)	

○会計報告

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	50,000		50,000
講師謝礼 (中止)		0	50,000
合計	50,000	0	50,000

○ 介護老人福祉施設部会総括

介護老人福祉施設部会は今年で 3 年目を迎え活動の活性化を目指していたが、新型コロナウイルスの影響により上半期は中止とせざるを得なかった。下半期に一部施設間でオンラインによる定例の研修会等が実施でき、次につながるものとなった。

来期は感染症対策を厳重に行いながら、現状の事態だからこそ必要とされる連携を各施設で協働して行いたい。

8. 小規模多機能型居宅介護部会

(令和 2 年度役員体制)

役職	氏名	事業所
会 長	清水冬生	東中野キングス・ガーデン
副会長	津島 仁	しらさぎ桜苑
副会長	米村 拓郎	愛の家小規模上高田
会 計	高野	倶楽部千代田會館

(令和 2 年度活動報告)

日程	活動内容	備考
4 月	4/14 定例会	
5 月	5/27 定例会	オンライン会議開始
6 月	6/16 定例会	えごたの家
7 月	7/20 定例会	オンライン会議開始
8 月	8/18 定例会	オンライン会議開始
9 月	9/8 定例会	オンライン会議開始
10 月	10/20 定例会	オンライン会議開始
11 月	11/5,6 介護の日イベント参加 11/17 定例会	区庁舎
12 月	12/15 定例会	オンライン会議開始
1 月	1/19 定例会	オンライン会議開始
2 月	2/16 定例会	オンライン会議開始
3 月	3/16 定例会	オンライン会議開始

○会計報告

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	50,000		
封筒購入費		660	
リーフレット郵送代		5,040	
合 計	50,000	5,700	44,300

○部会活動総括

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で部会活動が予定通りに行うことが困難になってしまいました。

そのような中でも、ZOOM を使ったオンライン会議を行うことで毎月の定例会を実施

することができました。

年度当初の緊急事態宣言下では、事業所での利用者受け入れ対応策とその影響について部会で共有を図り、運営の困難さを励ましあう中での活動となりました。

令和2年度としては唯一緊急事態宣言解除後の6月に「小規模多機能ホームえごたの家」を利用し、顔合わせをして会議をすることができました。

年度後半は新型コロナウイルスの収束が見込まれないため、オンライン会議を中心に部会活動を継続していきました。

事業所によっては身近に感染者が出るなど、対応に追われる状況もあり、利用率が低迷するなどの報告もありました。

RR活動について、人との接触を避けながら小規模多機能の利用案内ができるように、小規模多機能のリーフレットを部会役員の協力のもと、中野区及び隣接区の病院等に郵送することができました。

中野区介護サービス事業所連絡会2020(令和2)年度決算(案)

単位:円

	科目	内容	2年度 予算額	2年度 決算額	差異額
1 収入	会費収入	@5,000円×121 @8,000円×64 @1,000円×10	1,160,000	1,127,000	△ 33,000
	研修参加費		20,000	0	△ 20,000
	広報・啓発補助金		250,000	250,000	0
	2020年度繰越金		376,656	376,656	0
	利子収入		10	7	△ 3
	合計			1,806,666	1,753,663

	科目	内容	2年度 予算額	2年度 決算額	差異額
2 支出	研修会費	全体研修に伴う講師謝礼、交通費、会場費等	140,000	50,000	△ 90,000
	部会活動費	8部会	390,000	118,649	△ 271,351
	イベント参加費等	介護の日福祉用具展示、健康づくり、地域連携事業等	20,000	0	△ 20,000
	広報活動費	広報活動に伴う費用(名刺・郵送代等)、区民向け広報・啓発、ホームページ運営費用等	470,000	441,062	△ 28,938
	事務局運営経費	人件費@1,000円×7H×80日、事務費150,000円	710,000	710,000	0
	予備費	新型コロナウイルス感染症アンケート報告書郵送費	76,666	52,700	△ 23,966
	合計			1,806,666	1,372,411

〔収支差引額〕

1,753,663円－1,372,411円＝381,252円

(収入決算額) (支出決算額) (翌年度繰越額)

上記の収支報告を監査した結果、適正に執行されていると認めます。

2021(令和3)年 4月15日

監事 駒野登志夫 

2021(令和3)年度事業計画(案)

1. 運営方針

新型コロナウイルス感染症の拡大が止まらず、緊急事態宣言が2度も発出したため感染症数がどの程度抑えられるかによっては、社会生活の活動制限が続いてきます。

中野区介護サービス事業所連絡会も感染症拡大を受けて、昨年は活動制限がかかり、総会が開催できず会員の皆さんと顔を合わせる機会も減り、部会活動の縮小、大規模の研修会の中止、地域との関わりが制限されました。この状況のなか事業所連絡会の運営が変革を求められた一年でした。このピンチの状態からチャンスに変えていくために、今こそ、会員各事業所の皆さんと力を合わせ、中野区介護サービスが向かっていく先に希望がある、新しい中野区づくりを提言していきます。

さて、当会が開設して15年目の節目になるときに、コロナ禍のため、今までにない大きな壁に遮られ、縮小されている活動のなかで、いかに介護サービス水準の維持を図り、区民福祉の向上に寄与していくことを続けていくか問われています。

今まで培ってきた地域貢献、区民や地域団体、異業種地元企業等との接点を復活させるために、今年は事業所連絡会の運営を見直していきます。会員間または部会間での連携を深めるため、オンラインによる顔の見える機会を多く作り出し、活性化を促し、会員事業所数を維持していき、会員にさらなる利益を作り出していきます。

また、人材の確保や育成が困難な中、研修はすべてリモートで行えるようICTの普及を進めていきます。人材確保では中野区認定ヘルパー研修をオンラインで再開をすることで、介護にかかわる人材を広く募集をかけて介護体制が維持できるよう取り組んでいきます。

今年の事業所計画は、この苦難を乗り越えるために、運営の方向を再検討し、実現可能な事案から実践できるようにしていきます。

今年度の重要活動目標は、以下の内容で取り組んでまいります。

【重要活動目標】

1. ICT(情報伝達技術)の普及

コロナ禍において会議や研修等人が集まることができなくなっている現状において、会員とのつながりを密に続けていくために、情報伝達の方法を早急に取り組む必要があります。

- ① ICTを拡げるための環境整備
- ② 人材確保・育成にオンラインによる研修、認定ヘルパー育成研修の再開
- ③ 会員間での情報共有(新型コロナウイルスの情報発信と共有)

2. 行政と共に事業の参画

①新型コロナウイルス感染症への対応

介護を主に行う家族の陽性が判明し濃厚接触者となった在宅高齢者、及び、陽性が判明した在宅高齢者への在宅生活の継続に必要な支援について、行政との情報共有や連携を強化し、感染対策を担保した上での「中野区在宅要介護者受入体制整備事業」等への参画を行います。

②規制緩和の提案

地域密着型サービス等、区が権限を有する分野において、人材基準の緩和等サービスの質の低下を伴わない合理的な規則緩和を探り、区との協議を図ります。

3. 介護事業所従事者の確保及び地位向上

新型コロナウイルス感染拡大するなか、介護従事者への評価として、医療的ケアが出来る高いスキルを持ったヘルパーの評価、感染症に対応するヘルパーの評価を形に示すことで、働き手のモチベーションを上げながら、特殊技能を持ったヘルパーの定着、次世代の担い手を確保するために活動していきます。

①区長表彰の実現

②特殊技能ヘルパーに対して報奨金の授与

医療的なケアが必要な利用者が増える中、特殊技能ヘルパーの人材不足は深刻化しています。区内の企業、事業所等へ呼びかけ、特殊技能ヘルパーの確保や定着のため協賛金を呼び掛ける取り組みを進めていきます。

③認定ヘルパーの養成研修を再開

中野区内で認定ヘルパーを広く募集を行い、介護人材の確保につなげていきます

④介護の魅力発信事業の継続

「介護の日」イベントで介護の仕事内容を動画等で紹介し、「介護は明るく楽しくやりがいのある仕事」として認知を高めていきます。

介護の魅力発信も兼ね、事務局である中野区社会福祉協議会と連携し、コロナ禍で仕事を失った方や仕事を探している方向けの食の支援であるフードパントリーを活用し、動画の配信や介護のしごとの情報提供を行う。

4. 中野区介護サービス事業所連絡会の基盤強化と新しい委員の参画促進

中野区介護サービス事業所連絡会が今後も介護サービス事業者の横のつながりとサービスの向上、制度改革への貢献、更に区民福祉の向上に寄与していくため、組織運営の活性化と新しい人材の参画を促進できるよう、部会を含む役員任期制の導入を検討し、会則への付記を目指します。

1. 介護支援専門員部会

(令和3年度役員体制)

役職	氏名	事業所
会長	宮原 和道	NPOピクニックケア
副会長 (CMAT)	三枝 麻美	あいわ介護中野居宅介護支援事業所
副会長 (事務局、会計)	星野 智光	こ・こけあ中野 居宅介護支援事業所
広報・制度改正	渥美 頼子	川島診療所
広報・制度改正	大場 秀子	慈生会中野ケアプランセンター

広報・制度改正 (事業所連絡会)	皆川 明美	あおば
広報・制度改正 (事業所連絡会)	益岡 伸江	こ・こけあ中野 居宅介護支援事業所
IT・研修・会場 (鷺宮)	富澤 博幸	スマイルプラン
IT・研修・会場 (北部)	中條 知子	江古田ケアマネジメントセンター
IT・研修・会場 (中部)	平澤 多香子	介護ステーションぽけっと
IT・研修・会場 (南部)	廣末 美千代	弥生居宅介護支援事業所
防災・感染	鈴木 希衣子	本町地域包括支援センター
防災・感染	田邊 智子	大起エンゼルヘルプ 中野ケアセンター
防災・感染	磯貝 栄司	SOMPOケア 新井 居宅介護支援
防災・感染	平野 夕子	しらさぎ介護保険センター
防災・感染	中舘 由紀子	上鷺宮地域包括支援センター

事業所連絡会運営委員 2 名、広報・制度改正 3 名以上、IT・研修 3 名以上、防災・感染対策 4 名以上

(令和 3 年度活動計画)

日 程	活動内容	備 考
4 月	定例役員会	総会
5 月	定例役員会 主任ケアマネ連絡会	
6 月	定例役員会	東京都介護支援専門員研究協議会総会、研究大会
7 月	役員会 主任ケアマネ連絡会	
8 月	定例役員会	
9 月	定例役員会 ケアマネ部会主催全体交流会	
10 月	定例役員会	日本介護支援専門員協会 全国大会
11 月	定例役員会 主任ケアマネ連絡会 オレンジバレーンフェスタ中野 介護の日主任ケアマネジャー相談	
12 月	定例役員会	
1 月	定例役員会 主任ケアマネ連絡会	

	中野区医師会共催研修	
2月	定例役員員会 中野区共催地域ケアマネ研修 医師会主催講演会懇親会	東京都介護支援専門員研究協議会地域連携全体会
3月	役員会 主任ケアマネ連絡会	東京都介護支援専門員研究協議会第2ブロック会

○予算（案）

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	50,000		
広報費		10,000	
研修講師費(2回)		30,000	
交通費・活動費		10,000	
合 計	50,000	50,000	0

○介護支援専門員部会活動方針

2021年度は介護保険制度改正のある年であり、昨年度の新型コロナウイルス感染拡大を踏まえて以下の通りの活動方針とします。

- 1、介護保険制度改正の情報収集及び広報
- 2、オンライン等の活用による研修や会議の普及
- 3、防災及び感染症対策

1、介護保険制度改正の情報収集及び発信広報について

日本介護支援専門員協会や東京都介護支援専門員研究協議会、日本ケアマネジメント学会などと連携し、中野区のケアマネジャーとして保険者等と検討していきます。

2、オンライン等の活用による研修や会議の普及について

オンラインでの研修や会議が普及してきているため、全ての会員に同条件で研修の提供ができるように努める。また、ケアマネジメント業務にも活かせるように、医療や地域と連携していきます。

3、震災や感染症まん延が起きた時に、ケアマネジャーとして何ができるか検討し、地域と連携していきます。地域共生社会の中でケアマネジャーの役割を担うきっかけをつくります。

鷺宮	北部	中部	南部
富澤 博幸	磯貝 栄司	星野 智光	渥美 頼子
中舘 由紀子	大場 秀子	宮原 和道	三枝 麻美
平野 夕子	田邊 智子	平澤 多香子	鈴木 希衣子
	中條 知子	益岡 伸江	皆川 明美
			廣末 美千代

ケアマネジャーは、地域での活動も盛んなため、各エリアの役員も総会で確定以降も役員会で審議の上増員します。

※H31年度から同一法人も可能となり正副会長を除く16名の定員と定款変更となっています。

2. 訪問介護部会

(令和3年度役員体制)

役 職	氏 名	事業所
会 長(交流会)	畑野 由樹	ケアリッツ中野
副会長(認知症)	濱崎 健二	ダスキン ライフケア東中野ステーション
副会長(認知症)	戸澤 由希子	ケアセンター希
副会長(研修)	住田 雅彦	ヘルパーステーション中野
副会長 (イベント)	江田 舞	介護ステーションぽけっと
会計&書記 (研修)	大江 亮平	たんぼぼ介護
(研修)	宇川 佳子	みつ葉訪問介護事業所
(イベント)	渡辺 文恵	ヘルパーステーション中野の郷
(イベント)	田山 美紀	みずたま介護ステーション
(イベント)	音揃 隆行	みずたま介護ステーション
	大野 恵美子	みずたま介護ステーション
	岩根 誠	クリオケアセンター
	飯田 梨沙	東電さわやかケア中野
	奥田 由美子	介護ステーションぽけっと

(令和3年度活動計画)

日 程	活動内容	備 考
4月	定例役員会	
5月	定例役員会	
6月	全体研修会	
7月	定例役員会	
8月	定例役員会	
9月	定例役員会	
10月	定例役員会	
11月	全体研修会 介護の日PRイベント	
12月	定例役員会・忘年会	
1月	定例役員会	
2月	定例役員会	
3月	全体研修会	

※開催場所は、スマイルなかの3階会議室 18:30~20:30 で実施予定。

○予算

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	50,000		
研修費講師料		40,000	
印刷・通信費		10,000	
合 計	50,000	50,000	0

○ 訪問介護部会活動方針

訪問介護が抱える問題が改善されるように行動を行っていきます。

人材不足やコロナ禍での現状を意見交換やアンケート調査を行いながら実態を把握し、介護現場の声を区に届け、共に対策を考えていきます。

各部会とより連携を深め、オンライン等も検討しながら定期的な研修を行い、地域のヘルパー研修の技術・知識の向上を図ります。

3. 通所介護部会

(令和3年度役員体制)

役 職	氏 名	事業所
会 長	富田 浩	ベタニア・デイホーム
副会長・運営委員	西川 陽平	デイサービス宙
運営委員	遠藤 学	デイサービスやすらぎ邸 野方
広報・ホームページ	高森 千春	デイサービス 第二中野陽だまり
広報・ホームページ	福田 俊一	SOMPO ケア新中野デイサービス
研修オンライン会議	小森 千佳	デイサービスいずみスパ新中野
研修オンライン会議	高橋 芹香	デイサービスセンター江古田の森
会計	唐沢 明美	松が丘高齢者在宅サービスセンター
イベント	中野 正憲	老人デイサービスセンターふじみ苑
イベント	加藤 仙太郎	アサヒサンクリーン野方デイサービスセンター
イベント	高橋 亮子	デイサービスセンター中野の郷 ぷりむら
イベント	大村 佳代	アロハデイサービス

(令和3年度活動報告)

日程	活動内容	備考(場所)
4月	オンライン懇親会 総会	オンライン又スマイルなかの
5月		
6月	オンライン定例会	オンライン又スマイルなかの
7月	オンライン部会	オンライン又スマイルなかの
8月	オンライン定例会	オンライン又スマイルなかの
9月	オンライン部会(研修)	オンライン又スマイルなかの
10月	オンライン定例会	オンライン又スマイルなかの
11月	介護の日	オンライン又スマイルなかの
12月	オンライン定例会	オンライン又スマイルなかの
1月		
2月	オンライン部会	オンライン又スマイルなかの
3月	オンライン定例会	オンライン又スマイルなかの

○予算(案)

単位:円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	50,000		
研修講師代		30,000	20,000
会議、研修資料、他		20,000	0
合計		50,000	0

○ 通所介護部会活動方針

前年度は、他施設の見学も兼ねた部会の開催を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響でできませんでした。

事業所として感染予防を優先なのか、今年度は、例え全体会がオンラインという形になっても事業所間の横の絆を強くできる関係作りをまずは、最優先にさせていただきます。

また、ホームページの更新や、広報も引き続き更新をしていきます。

4. 福祉用具・住宅改修部会

(令和3年度役員体制)

役 職	氏 名	事業所
会 長	柳沢 裕行	株式会社アースシステム
副会長・会計	佐藤 英郎	在宅介護センター・アスモ
広 報	市川 裕介	株式会社 東基
監 査	佐藤 靖	ダスキンヘルスレント新宿ステーション
書 記	米倉 雄介	株式会社アースシステム

(令和3年度活動計画)

日 程	活動内容	備 考
4月	定例会	
5月	定例会	
6月	介護サービス事業所研修(福祉用具部会として協力)	
7月	定例会	
8月	定例会	
9月	定例会 / 福祉用具部会主催研修会(予定)	
10月	定例会	
11月	介護の日福祉用具の展示 (中野区役所/オレンジバルーン/鷺宮エリア介護ネットワーク)	
12月	定例会	定例会後交流会
1月	定例会	
2月	定例会 松が丘プラザ祭(福祉用具の展示)	
3月	定例会	

○予算(案)

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	30,000		
広報費		10,000	
研修講師費		15,000	
その他(駐車場代等)		5,000	
合 計	30,000	30,000	0

○福祉用具・住宅改修部会活動方針

福祉用具専門相談員及び福祉用具プランナーはケアチームの一員として他職種や専門家と連携を取りながら福祉用具に関する適切な知識と適用に関する技術を地域

貢献に役立てる活動を目指す。

- ・ 福祉用具の『安全安心』活動を中心に中野区での活動(イベント)に部会として積極的に参加していく。
- ・ 中野区の活動に協力して頂ける福祉用具事業所を増やし、情報の共有や連携を図り、福祉用具・住宅改修事業所の交流の場となるような部会活動を目指す。
- ・ 福祉用具の役割を伝えるため他部会との合同研修や福祉用具の知識・技術力の向上を目的にした部会内研修に取り組む。

5. グループホーム部会

(令和3年度 役員体制)

役 職	氏 名	事業所
会 長	福島 誠	はびね中野坂上
副会長	河崎 剛	たのしい家中野南台
会 計	工藤 和明	たのしい家江古田

(令和3年度 活動計画)

日 程	活動内容	備 考
4 月	定例会	
5 月	定例会	
6 月	定例会	
7 月	定例会	
8 月	定例会	
9 月	グループホーム「つどいの会」開催	日時未定
10 月	定例会	
11 月	定例会 研修	日時未定
12 月	定例会	
1 月	定例会 ガイドブック作成	
2 月	定例会	
3 月	定例会	

○予算 (案)

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	50,000		
研修講師代		10,000	
ガイドブック作製費		40,000	
合 計	50,000	50,000	0

○ グループホーム部会活動方針

今年度は定例会、研修、情報共有などオンラインを活用し活動に取り組みます。また引き続きガイドブックを作成し、地域の皆様へグループホームを知るきっかけや理解につなげて行ければと考えております。

オンラインならではの新しい交流の仕方や研修の開催を目指し取り組んでいきます。

6. 訪問看護部会

(令和3年度役員体制)

役 職	氏 名	事業所
会 長	会田 久子	ひよこ訪問看護ステーション
副会長	川崎 広志	なごみ訪問看護ステーション
副会長	関根 玲子	東電さわやかケア中野・訪問看護
書 記	本間 有紗	東京リハビリ訪問看護ステーション中野
書 記	前川 慶亮	ベストリハ訪問看護ステーション
会 計	大峰 眞由美	新渡戸記念訪問看護ステーション
会 計	山口 みどり	なごみ訪問看護ステーション
会計監査	内 孝子	上高田訪問看護ステーション
会計監査	藤野 豊子	中野北ベタニア訪問看護ステーション

(令和3年度活動計画)

日 程	活動内容	備 考
4月	幹事会	
5月	部会、在宅ケア研究会の共催、総会	
6月	幹事会、	
7月	部会、	
8月	幹事会、在宅ケア研究会の共催	
9月	部会、ヘルパー研修	
10月	幹事会	
11月	部会、在宅ケア研究会の共催 防災訓練 オレンジバルーンフェスタ in 中野への参加	
12月	幹事会	
1月	部会、ヘルパー研修	
2月	幹事会、在宅ケア研究会の共催	
3月	部会	

○予算(案)

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	50,000		
講師謝礼		40,000	
その他(会場費、 雑費等)		10,000	
合計	50,000	50,000	0

○ 訪問看護部会活動方針

今年度は新型コロナウイルス感染症の流行という今までとは異なる状況の中で、住民が地域で安心して生活し続けることができるよう、今まで以上に地域連携、医療・介護サービスの質の担保が重要となります。オンラインでの研修開催の検討など、コロナ禍において、これまで行ってきた研修や広報活動をいかに継続・発展させていくことができるかを検討し、他部会とも連携して活動して取り組んでいきます。

7. 介護老人福祉施設部会

(令和3年度役員体制)

会長	田村 晃司	(中野友愛ホーム)
副会長	中村 正之	(おたきほうむ)
会計	中島 寛子	(江古田の森)
中野区介護サービス 事業所連絡会運営委員	田村 晃司 中村 正之	

(令和3年度活動計画)

* 定例会等の会合は下記以外でも必要に応じて開催

月	研修会等	定例会
6月		役員会
8月	研修会	役員会
10月		役員会
12月	研修会	役員会
2月		役員会

○予算(案)

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	50,000		
研修費(講師代・資 料・会場費等)		40,000	10,000
広報、活動費		10,000	0
合 計	50,000	50,000	0

○介護老人福祉施設部会活動方針

介護老人福祉施設部会は、介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)事業の運営・経営、サービスの質の向上、人材育成などに関し、お互いに協力し合いながら情報交換、連絡調整及び研修・研究会などを行います。このことによって中野区内における介護老人福祉施設の健全な発展を図り、区民の施設サービスについての知識や利便性向上に努めることを目的とします。

- ・ 介護老人福祉施設においては、新型コロナウイルス感染症対策を利用者の生命を守るために各施設総力をあげて最優先に取り組む中、今年度は昨年一部で実施したオンラインによる研修会や情報交換会を拡げ、中野区内施設間の情報交換や研修の場とし連携を深めます。
- ・ 役員が、オンライン等で定期的に会合する場を持ち、区内各施設の運営へ活かせるものとします。
- ・ 各介護老人福祉施設との協働による人材育成の機会を設けます。
- ・ 中野区内の他の介護サービス部門と交流や連携を図ります。

8. 小規模多機能型居宅介護部会

(令和3年度役員体制)

役職	氏名	事業所
部会長	清水 冬生	東中野キングス・ガーデン
副会長	米村 拓郎	愛の家小規模上高田
会計	小島 数也	小規模多機能ホームえごたの家

(令和3年度活動計画)

日程	活動内容	備考
4月	定例会 介護報酬改定勉強会	
5月	定例会 SNS 情報発信検討会	
6月	定例会	
7月	定例会	
8月	定例会	
9月	定例会	
10月	定例会	
11月	定例会 介護の日イベント	
12月	定例会	
1月	定例会 研修	
2月	定例会	
3月	定例会	

○予算(案)

単位：円

内容	収入	支出	残高
部会費	50,000		
オンライン活動費		20,000	
PR 物品関係		20,000	
講師謝礼代		10,000	
合計	50,000	50,000	0

○小規模多機能型居宅介護部会活動方針

<新型コロナ禍の活動>

令和2年度は新型コロナウイルスの流行により、大きく活動を制限されることになりました。各事業所においても感染者、発熱者が出るたびに利用者の利用制限や職員不足による対応に追われてしまい、部会活動そのものが停滞することになりました。そのような中であっても、毎月欠かさずオンライン会議を行い、事業所間の情報交換の場を作ることができました。

令和3年度においても、新型コロナウイルスの流行が収束していかない限り部会活動及びPR活動等多人数集まった中で行っていくことが難しいと考えられます。

よって、オンラインを使った部会活動を続けながら、情報交換等を行い、現状に合わせて区民に届けられるような広報活動を行っていきます。

中野区介護サービス事業所連絡会2021(令和3)年度予算(案)

単位:円

	科 目	内 容	3年度予算額	
1	収入	会費収入	@5,000円×121 @8,000円×64 @1,000円×10	1,160,000
		研修参加費		20,000
		広報・啓発補助金		250,000
		2020年度繰越金		381,252
		利子収入		10
		合 計		1,811,262

単位:円

	科 目	内 容	3年度予算額	
2	支出	研修会費	全体研修に伴う講師謝礼、交通費等	50,000
		部会活動費	8部会	380,000
		イベント参加費用等	介護の日福祉用具展示、健康づくり事業、地域連携事業等	20,000
		広報活動費	広報紙、パンフレット、ホームページ維持経費等・区民向け広報・啓発費、通信、ZOOMアカウント費	580,000
		事務局運営経費	人件費@1,000円×7H×80日、事務費150,000円	710,000
		予備費		71,262
		合 計		1,811,262

中野区介護サービス事業所連絡会 運営委員(案)

☆新規選出の委員

	氏名	所属	備考(前職等)
委員	田口 善彦	看護小規模多機能型居宅介護miketa中野弥生町	会長
委員	奥田 由美子	介護ステーションぽけっと	副会長・訪問介護部会
委員	森 京子	みつ葉居宅介護支援事業所	副会長
委員	花堂 浩一	在宅介護センター・アスモ	副会長
委員	宮原 和道	NPOピクニックケア	副会長・介護支援専門員部会
委員	白岩 裕子	しらさぎ桜苑	副会長
委員	皆川 明美	あおば	介護支援専門員部会
委員	益岡 伸江	こ・こけあ中野	介護支援専門員部会
委員	畑野 由樹	ケアリッツ中野	訪問介護部会
委員	戸澤 由希子	ケアセンター希	訪問介護部会
委員	西川 陽平	デイサービス宙(そら)	通所介護部会
委員	☆遠藤 学	野方やすらぎ邸	通所介護部会
委員	柳澤 裕行	株式会社アースシステム	福祉用具・住宅改修部会
委員	佐藤 英郎	在宅介護センター・アスモ	福祉用具・住宅改修部会
委員	福島 誠	はぴね中野坂上	グループホーム部会
委員	河崎 剛	たのしい家中野南台	グループホーム部会
委員	内田 繭子	ケアプロ訪問看護ステーション東京	訪問看護部会
委員	☆佐藤 靖子	訪問看護・リハビリテーション だるま	訪問看護部会
委員	田村 晃司	中野友愛ホーム	介護老人福祉施設部会
委員	☆中村 正之	おたきほうむ	介護老人福祉施設部会
委員	清水 冬生	東中野キングス・ガーデン	小規模多機能型居宅介護部会
委員	☆米村 拓郎	愛の家小規模上高田	小規模多機能型居宅介護部会
委員	齊藤 稔	社会医療法人社団 健友会	
委員	☆岩根 誠	クリオケアセンター	
委員	☆上野 修司	レコードブック新江古田	
監事	駒野 登志夫	社会福祉法人 武蔵野療園	